

(2026年6月2日発表)

早稲田大学との共同研究「市民価値観アンケート」の試行

静岡市は、市民の皆さまが「どのような政策・取組を重視しているのか」を把握するため、早稲田大学と共同で、新たな調査手法を活用した「市民価値観アンケート」を試行します。

【趣旨・背景】

- ・静岡市では、これまで、毎年、市民向け調査を実施し、市民満足度や個別施策への評価等を把握していましたが、「市民が本当に優先している政策や取組」を詳細に把握できていませんでした。
- ・このため、市民が重視する政策や、人口流出の抑制につながる取組の優先順位を把握できる新たな調査手法の導入を検討してきました。
- ・2026年3月26日に、早稲田大学と市民向け調査への新たな分析手法の導入に向けた共同研究に関して協定を締結し、今回、新たな調査手法「VE法(※)」を取り入れた「市民価値観アンケート」を試行します。
- ・VE法を取り入れた調査の実施は、全国の自治体で初めての取組です。

【概要】

- ・「市民価値観アンケート」では、早稲田大学発スタートアップである VETA(ヴィータ)株式会社が開発した「Value Elicitation(バリュー・エリシテーション)法(VE法)」を活用し、市民が重視する政策や人口流出対策の優先順位を分析します。
- ・アンケート結果は、早稲田大学との共同研究として取りまとめ、今後の市民向け調査の改善や人口流出の抑制に向けた取組の見直しのための資料として活用します。

※VE法:複数の政策を組み合わせた「仮想の静岡市」を比較して選択してもらうことで、市民の潜在的な価値観を深く把握し、市民が重視する政策の優先順位を分析する手法。回答者自身にも、「あなたが重視しているのは●●です」とフィードバックする点が特徴。

【調査詳細】

- ・実施期間:2026年6月28日(日)まで
- ・対象者:SNS等を通じて、市民の皆さまに広く協力を呼びかけます。また、同時期に実施する市民意識調査の回答者にも協力を呼びかけます。
- ・質問内容:医療、防災、子育て支援など複数の政策や取組について充実度合(充実/ふつう/やや不足)の組合せが異なる「静岡市A」「静岡市B」を提示し、「10年後、どちらの市に住みたいか」を選択してもらいます。※別紙「スマートフォンでの回答画面イメージ図」参照
- ・回答方法:インターネット回答(<https://shizuoka-values-sns-r8.veta.co.jp>)
- ・所要時間:約5~10分、全て選択式で簡単に回答できます。
- ・その他:匿名回答

【問い合わせ先】

総務局 広報課(静岡庁舎8階)、担当:山田、杉本
電話:054-221-1354

別紙 スマートフォン回答画面イメージ

「政策」について

あなたは、10年後、静岡市Aと静岡市Bの、どちらに住みたいですか。

A	地域福祉	B
ふつう -	地域活動やコミュニティ ① 充実 ↑	
充実 ↑	医療・福祉の提供 ② ふつう -	
A	安全安心	B
ふつう -	防災・減災対策 ③ やや不足 ↓	
充実 ↑	治安・防犯の状況 ④ ふつう -	
A	子ども教育	B
ふつう -	子育て環境・支援 ⑤ 充実 ↑	
ふつう -	子どもの就学・学習環境 ⑥ ふつう -	
A	まちづくり	B
ふつう -	地域特性をいかした産業振興 ⑦ ふつう -	
充実 ↑	公共交通サービスの提供 ⑧ ふつう -	
やや不足 ↓	生活インフラの老朽化対策 ⑨ やや不足 ↓	
充実 ↑	快適な住環境の確保 ⑩ 充実 ↑	
ふつう -	観光地としての魅力 ⑪ 充実 ↑	
A	市の財政	B
重視しない ↓	健全な財政運営 ⑫ 重視する ↑	

住みたいのは...

静岡市A

静岡市B

人口流出の抑制に資する「取組」について

あなたは、10年後、静岡市Aと静岡市Bの、どちらに住みたいですか。

A	子育て支援	B
ふつう -	子ども医療費・保育料の負担軽減 ① 充実 ↑	
充実 ↑	子ども園、学童保育の整備 ② ふつう -	
A	雇用創出や産業振興	B
ふつう -	企業誘致・留置の支援 ③ やや不足 ↓	
充実 ↑	奨学金返還・地元就職支援 ④ ふつう -	
充実 ↑	地元企業への助成、補助 ⑤ やや不足 ↓	
A	活力あるまちの形成	B
ふつう -	駅前の利便性 ⑥ 充実 ↑	
やや不足 ↓	買い物の利便性 ⑦ やや不足 ↓	
充実 ↑	公共交通の利便性 ⑧ ふつう -	
ふつう -	公園・みどり ⑨ ふつう -	
A	快適な暮らし	B
ふつう -	空き家の活用などの住宅供給 ⑩ ふつう -	
ふつう -	若者の住宅取得、家賃支援 ⑪ 充実 ↑	
A	市の財政	B
重視しない ↓	健全な財政運営 ⑫ 重視する ↑	

住みたいのは...

静岡市A

静岡市B

回答の流れ（「政策」についての場合）

① 「あなたは、10年後、静岡市Aと静岡市Bの、どちらに住みたいですか」という質問で、「地域活動やコミュニティ」「医療・福祉の提供」など、①～⑫の12項目について「充実↑」「ふつう-」「やや不足↓」がランダムで表示されます。

② 回答する市民は、仮想の静岡市Aと静岡市Bの組合せのどちらが良いか、繰り返し選択します。

③ 回答終了後には、回答者に、ご自身の「住みたいまち重視度」をグラフ等でお示しします。



人口流出の抑制に資する「取組」についても同様の流れで回答いただきます。